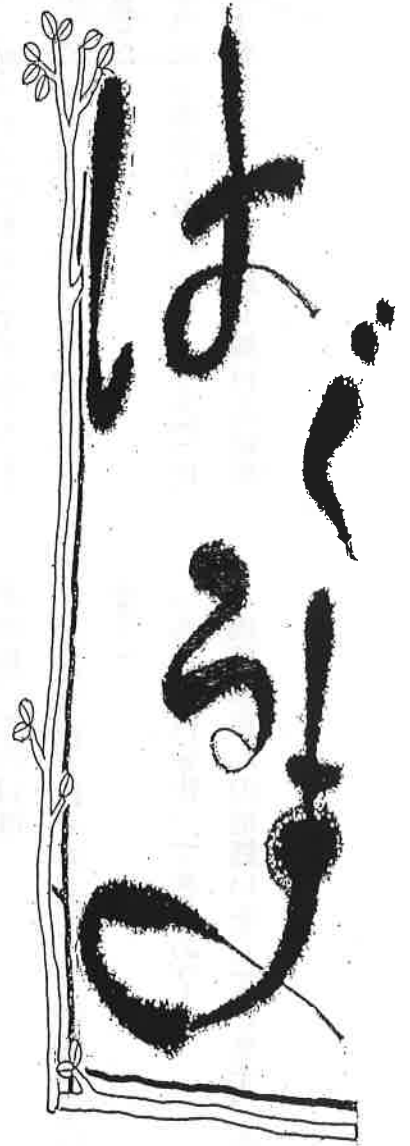


夢に向かって 全力投球!



第25回評議委員会・理事会において、大きな決定がなされましたので、報告をします。

第一作業所隣の土地30坪・建物二階アパートを取得することになりました。これによって第一作業所と合わせて、「将来のはぐるまのビジョン」に近づけるのか具体的な検討が始まります。夢の実現に向かい力を結集しましょう!

第一号議案 事業報告について

支援センター・作業所・ホームの一年間の事業報告がありました。その中で特に、8ヶ所にも増えた、ホームのあり方についての協議がありました。

「一人暮らしを支える」・「夫婦の生活を支える」・「実習生ではなく、ホームに早く入りたい」等 仲間の状態からみて、多様なホームの役割が望まれています。

制度の中だけでは叶わないことを、「はぐるま」としてどのようにしていくか、大きな課題となります。今後検討事項となりました。

第二号議案 18年度決算報告

施設会計では・・・ケアホームの収入は減りましたが、作業所が増えていきますので、合計では前年度並みで、赤字を免れた決算になりました。今年度の支援費支払システムが2ヶ月遅れになることより、収入が入らない月があります。その間の運営費・職員給与の支給に支障が生じないように対応していかなくはなりません。

授産会計では(仲間の売上げ)・・・売上げ総額約一千二百万円。昨年比62万円の減収で、このままでは、工賃の現状維持が大変しい状況です。昨年は仲間の編成変えがあり、生産・販売がストップした時期がありますので、今年度の頑張りには期待します。授産に関しての打開策は、全体会の時に報告します。

NO. 29

2007年 5月31日

社会福祉法人

はぐるまの会

広報委員会

後援会

川崎市多摩区菅馬場

1-18-17

TEL 044-946-1308

はぐるまの伝統

工賃は仲間の力でかち取る!

販売点数が落ち 工賃が危ないという
決算報告でしたが、今年度は頑張ります。

大きな籠を抱えて商店街を歩いて販売活動を実践する仲間達。引率する職員は様々な光景に遭遇します。モノを作って売るということだけではなく、ホームでの共通の話題であったり、仲間達一週間の生活リズムの一大関心事でもあります。

続 販売活動のとある一日

菅工舎 金田 圭一

通りの向こうのラーメン屋のおじさんが出てきて、「後でウチにもよってくれよ。もう ふきんがなくなったらから」と声をかけてくれました。

このように「おなじみの『はぐるま』」になるには十数年通って、会話し続けた結果

だと思えます。そう思うと、これまで歴史を作ってきた仲間たちには頭が下がります。

できたばかりのような新しい店だと、「何者?」という表情が当たり前で、説明して少しでも理解を深めようとしても、「忙しいから」と一蹴されることがほとんどなのです。ですから、このように地域全体的に我々のことが認識されているということは驚異的なことなのです。(もちろん元々その地域にあった人情味なんていうのも関係しているのでしょうか)

ところで、そんなに調子がよすぎると、前進あるのみ!が強くなりすぎて、お店をすっ飛ばしてしまったり、待つとくよ、の指示を忘れて先に進んで迷子になったり、ということがよくあります。そういったことも一つ一つが学習なのです。

その他、この日は、
・「こんにちは。はぐるまです。販売しています」
「あら、何を作ってきたの?」
「僕はふきんの地縫いをしています。そ

の他にも・・・」(相手の質問に答えることよりも、自分のセリフを言い終えることに意識がいっぱい)

・「こんにちは。」

「んー、どうしようかなあ」

「では、また」

(勝手に「買わない」と判断してそそくさと出て行ってしまおう)

・ガラガラ

「・・・」

(ついていたテレビに釘づけ)

・・・などなどその仲間の課題になっていることが、そのままあらわれているのですが、地域に出向く真剣勝負ですから、緊張感もあるし、仮に地域の人に注意されてピクツとすることがあればなおさら学習につながりやすいのです。

結局、午後二時には終了し、合計一三二個も売ることができました。かこいっばいにあった自主製品もガラガラ。

作業所に戻ってから、結果発表。誰がどれだけ売ったのか仲間は気になるみたいで

す。そして、全員さぼらずあきらめずがんばれたかを確認しあつて、「おつかれさま」のお茶タイム。この日入れでもらった飴を分けて食べました。

これからも継続的に学習していく仲間たちではありますが、一日中歩いてても平気な顔をしている、これもまた長年の体力的な積み重ねなのであります。(了)

断られてもめげずに **GO!**



第2作業所 池田 紋子

今週は、小田急線読売ランド駅から電車に乗り、相模大野・大和で乗り換えて相模鉄道線瀬谷駅に行ってきました。このコースは、工房から引き継いだコースで、こじんまりとした商店街があり、第2作業所の仲間四人と引率職員一人の小さなチームでゆつくり、じつくり回れるコースです。

駅前には、スーパードヤパチンコ屋さんが出来、活気はありましたが肝心の商店街の方はというと、シャッターが閉まり、人通

りもまばらなところでした。そんな中で日本のエプロンを身につけ、お金袋を持った仲間と製品を籠に入れて担いでいる仲間がペアを組み、販売の始まりです。

「こんにちは、川崎市多摩区から来ましたはぐるまです。お話をする勉強に来ました。自分たちで作りました。どうぞ見てください。お願いします。」話し言葉の聞きとりにくい仲間でも、ゆつくり自分たちのセリフを話しますが、「今忙しいんだよね」「去年買ったフキンがまだ残っているんだよ」

「あくいらない、いらない」「協力したいけど、うちも不景気だね。ごめんね。」等と反応も様々です。いきなりの4連敗で、仲間達も私自身も気持ち沈みがちになってきます。そんな時頼りになるのが、ムードメーカーの橘さん・長原さんです。「さっ次行こう!」「がんばるぞーおー!」仲間同士で声を掛け合い、気合を入れてどんどん次のお店へと進んでいきます。決してあきらめることはありません。

次のお店では、「おぼちゃんいつもこれ買

ってるのよ。」「このフキン使いやすくて丈夫なの。」「これ頂戴。」と仲間のかごに手を伸ばし製品を手にとってお話されるお得意様の仲間達も嬉しそうに説明します。チラシに載せてある「花ハウス」の宣伝も忘れません。「花ハウスで、コーヒードーナツ・ケーキやっています。来て下さい」と・・・等等。

店を出るとガッツポーズ・ピースサインで大喜び。さっきまでの重い足どりが嘘だったように軽い足どりになっています。

次のお店でも「待ってたのよ。今日は何作ってきたの?」の声に仲間はますます張り切り、説明を一所懸命しています。買ってもらえると「とても丈夫なので、使ってみてください。」と次々にセリフ以外の会話が出来ます。仲間達の言葉の発達にも驚かされます。毎日の暮らしや仕事の中で言葉の力を身に付け、販売で地域の方とのコミュニケーションをとる力もつけてきていることに改めて気付かされます。販売を通して仲間の発達を気付かされる事の多い販売を仲間と一緒に続けて行きたいと思えます。

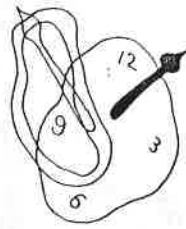
社会情勢が急変する今

はぐるまとして

「変わってはいけないこと」「変わらなければならぬこと」を見極める時代になりました。自立支援法の根底に流れる思想の是非は問われなければならないことは言うまでもありませんが、法律は、好むと好まざるに関わらず利用者や事業所を運営する職員に大きくのしかかっています。培ってきた「変えてはいけないこと」を肝に銘じながら、「変革しなくてはならない」ことを真剣に模索する中堅職員の思いが、感じられるレポートを紹介します。

対外活動報告

倉科 丈人



四月二十八日(土)きょうされん神奈川支部総会が開催されました。今年のテーマは「障害者自立支援法をどうのりこえるか」六会場で交流・研修会が行われ、

はぐるまからは仲間代表四名、職員二名が出席しました。

① 仲間達の所得保障とやりがいのある仕事づくり

② 地域生活Ⅰ(軽度障害者独自の困難と支援)

③ 地域生活Ⅱ(医療との連携)

④ 精神障害者の地域生活支援

⑤ 語り合おうホーム利用者の悩みや夢を

⑥ きょうされん神奈川支部仲間部会結成総会

この研修会の大きなテーマは、「高工賃の獲得に向けて」。平均月額1万円前後の工賃の壁を乗り越えるための他施設の創意工夫や挑戦について研修しました。高工賃(平均3万円〜7万円)を実現している施設に共通している点がいくつか分かりました。

① 「明確な目標設定」

支給工賃の目標額が明確に設定され、今日、今週、今月いくつ、いくら売れるかの具体的な数値が日々の目標で落とし込まれている

② 「地域性を活かす」

駅頭・引き売り販売や、狙いを絞った外部販売等、与えられた立地条件を活かし、自らそのチャンスを作り出している。

③ 「専門家の活用」

販売戦略指導の経営コンサルタントや、プロによる技術指導、品質管理等必要に応じた専門家を活用し、そのための投資を積極的にに行っている。

④ 「作業種を絞る」

多くの作業種を行うと人手が分散してしまう。食品は継続的な需要があるため、高工賃への近道である。

⑤ 「リーダーシップ・決断力」

さまざまナリスクが考えられるが、どこかで決断して具体的に動き出す。どこかに力を注ぐには、どこかを切らなければならない、その決断が必要。

仲間たちに限らず、私たち人間が生きていく中で、経済は切っても切れない生活を大きく左右するものです。はぐるまでは、

「現行の工賃体系の維持」の状態が続いていますが、高工賃を保障している他施設の共通点をもう一度、はぐるまでも当てはめて、より様々な創意工夫や挑戦につなげ、仲間たちの工賃を伸ばしたい、伸ばせるはずだとの思いを強くしました。

「その施設の工賃を見れば職員の力量が分かる。」ある講師の言葉が私の耳にこびりついて離れません。私の中で今後の大きなテーマになりそうです。(倉科)



「語り合おう」

「ホーム利用者の悩みや夢を」

平成十九年度きょうされん神奈川支部総会分科会報告

福田 真

四月二十八日(土) きょうされん神奈川支

部総会に仲間を代表して椎名君・佐藤君

山田君・半谷君の四人が出席しました。ホームでの生活の様子を椎名君・山田君が発表、司会進行を半谷君が担当しました。

テーマは「語り合おうホーム利用者の悩みや夢を」で事前に仲間自治会での学習や準備をしてこの日に臨みました。発表内容は「はぐるま」の特長である仲間による係の分担や日々のまとめ、健康維持のための運動を頑張ってやっていることを大きな声で誇らしげに発表していました。

他の施設との交流会の中で共通する悩みは、自立支援法後、発生した負担の重み、ホーム運営の弱体化による職員数の削減という点です。発表したある利用者によるとホーム費(家賃含む)・その他の生活費・自己負担分を合わせると、月に八万円から十万円も費用がかかるそうです。実情を考えるとこの費用を全ての利用者が払えるものではありません。この負担に耐え切れない仲間はどうしろというのでしょうか。

法人・施設の経営努力による経費の削減、

事業収益の確保はもちろんですが、仲間達の生活を守っていくためには、きょうされん等の運動に参加して実情を訴えていくことも大切です。はぐるまとしても、より積極的に研修会・交流会に参加するように取り組んで生きたいと思います。

交流会に参加して感じることは、はぐるまの仲間が一番元気で自信満々に見えることです。普段、ホーム生活の中では、失敗を注意されて落ち込むこともあったり、けんかをしたりで嫌なこともあると思うのですが、いざ振り返ってみると、日々の暮らしを力一杯頑張っていると言う誇りと自身の方が大きいようです。会場までの移動についても山田君が大きな声や身振りで先導したり、常に後ろの仲間を振り返り気を配って、電車やバスの中でのマナーも守る仲間達の姿に、リーダー層の社会性・実行力(度胸)に改めて感心しました。事前の目標・学習があれば職員の引率は必要ないほど培ってきた力があるということを見せてもらいました。

入居者分科会 レポート

ほろろま おおぼ山田 俊輔

①

- (1) グレープホームの紹介は「おおぼホーム」(ほろろま)
 (〒214-0037(伊)川崎市多摩区西生田3-19-23)
- (2) 仲間は5名で、職員は6名ですが1人づつの部屋が5室あります。
- (★) 決まりは1人づつ、係り仕事を分担して、自分達でやっています。
- (3) 土日はほとんどの方が家へ帰ってすごしていますが、^{5のうち}2人はホームにいるのが多いのです。
- (★) 休日は1人で出かけられない人は、ヘルパーさんと一緒に出かける事もあります
- (★) 話し合は毎日しますが、1日のまとめの際に、困った事などあれば話します
- ホームに帰ってきてから買物や掃除に調理などします
- ★夕食前後に運動や入浴も、とんとんしていき、くつろぎタイムをたっぷりします
- (4) 将来親亡き後は自分の実家で1人で生活したい
- (5) 仕事は川崎北部の「ほろろま」へ通うつもりです

おおぼH(代)山田 俊輔



当日の朝「勝負服だ」と赤ネクタイ背広姿で会場に向かった。仲間代表の自覚と誇りを感じさせられた発表会でした。

入居者分科会 レポート

はぐるまみどりホーム

木住加一郎

- ① 多くははぐるまのみどりホームにいらしてします。
土曜日はなんのせいの中の身までです。そばにはたま
りかながかれています。
- ② 入居者数は5人です。
小平くんと山岸くんとすすきくんと平がしくん
として多く木住加一郎40オです。5人の男せいホームです。
- ③ しゃくけんたいせいはいま、
ちゅうりする三井さんと、三日月の中山さん、ふくせさん、
こせせさんの3人です。毎日まっています。
木住で
- ④ はぐりについてはいま、
三井さんが朝ごはんと弁当と夕ごはんをつくらせてくれます。
朝ごはんはトーストパンと目玉焼きと、やさしいスープと牛にゅう
とフルーツとまいているは三井さんのつくるとお弁当と
です。きのうの夜はごはんどりのてりやきとたまご
サラダとみそ汁でした。三井さんがいつもおい
しいごはんをつくらせてくれます。
7時ごろには、コーヒータイムがあります。
- ⑤ 1ヶ月のお金は
ホームのいは、4万6000円です。
サブがいは、6000円で土日の外出にイ使います。
土日は、月一回にたかやしワラフとして、火田に行きます。
ヘルパーさんと一緒に出かけるとして、かんとか、ダイエーとか
ら、ちゅうのハイサラスにイ行、たりしてします。
- ⑥ 多くのヘヤは1人ヘヤです。
半倉くんと山岸くんと1人ヘヤです。
小平くんとすすきくんは2人部屋です。
部屋には仮面ライダーや、ガンダムとかミニカーとか
かまっています。まどかにはとかりの家が買えます。
- ⑦ きまりはあります。
土日は夕方までに帰、てくることといらやくやくです。
毎日のこととていらと朝は6時におきて仲間でしたことを
して、イをたするのがやくやくです。どんな係があ
るのかとていらと、
・朝は、10分イ係、牛にゅうイ係、たまごがかり、
ゴ三出し、せたくはし、そうじき、トイレそうじです。
・夜は、おみそ汁がかり、しよ、きのうのきづけがかり、
おかるそうじ、おかる入れ、弁当づめがかり、
せたくなどです。
はぐるまのみどりホームは自分たちでできることは自
分たちでやるべきでないことでも、おまわあわせ
てやれるようにかまたいとていらとていら木住なやく
やくががあります。
- ⑧ 多くのフジ目みは、
仲間やしゃくけん1にほうはくちらるわなはしてです。
もう2年間もか、つていません。
しんぱいどとはどこにありません。
- ⑨ こんごのきぼうなどはエフロンのでもぬいがかで
きるようになりたいです。
仲間にはどうして、かいてどうにイ行って見た
いです。
どうもこうしてジーンギスキャンとみそラーメン
ンもたへて見たいです。

富士山クラブ森の学校で

仲間達は大活躍

仲間ハイキングビデオDVDが完成したので富士山クラブにお届けすべく、土曜日の仲間達六人が富士のふもとに出かけました。

くつきりとした青空の下、富士山を仰ぎながら富士山クラブ森の学校の清掃活動に参加しました。主催者側より三回目の仲間参加に対しての高い評価をもらい、二時間余飽きたり混乱することなく、樹林の中で他グループの方々とも協力し合い、拾う量や分別する能力の高さを示すことができました。移動の車の中から運転する職員よりも先に「あっー富士山だ」と叫んで車中で大騒ぎする仲間達。パーキングエリアでの飲み物やお菓子要求などができることなく、満足げの姿に清々しさを感じた。このような活動により多くの仲間達参加は、今後土曜日曜・休祭日・長期休日の利用も含め検討中です。



ビデオ・DVD「仲間ハイキングの記録」が完成

お知らせ

早いうちよりのお申し込みを頂いた方々には大変お待たせしましたが、近日中にお届けできる運びとなりました。是非多くの方々に見ていただいて感想をお寄せ戴きたいと製作者も次作品に向けて準備中です。

五月四日のバザー

多くの方々のご尽力で無事に実施することが出来ました。ありがとうございます。

売上げ利益全額 十三万三千九百五十七円は、仲間の家設立資金に寄付されることになりました。

はぐるま全体会

期日 六月二十六日(日)

場所 中原エポック

午前中 仲間評価式 午後 全体会

評価式は仲間のホーム生活の評価です。